

1 岐阜県流域下水道事業の業務の状況

岐阜県流域下水道事業は、木曽川及び長良川流域の4市6町の汚水を、各務原浄化センターにおいて、広域的に処理することにより、流域住民の生活環境の改善と共に公共用水域の水質保全を図っています。

近年は、施設の老朽化に伴う更新需要の増大が見込まれ、将来にわたり必要なサービスが安定的に提供できるよう計画的な更新整備が必要となってきています。

なお、令和2年4月から、地方公営企業法に基づく企業会計として経理を行っています。

令和3年度（上半期）の状況

1 概況

本年度9月までの流入汚水量は、前年同期に比べ、0.4%の減少となっています。

流入汚水量の状況

区 分	今 期	前 年 同 期	比 較 増 減	対前年比率
	m ³	m ³		%
木曽川右岸流域下水道事業	27,326,049	27,424,379	△ 98,330	99.6

2 経理の状況

本年度9月末までの経理状況は次のとおりで、前年同期と比べ、収益は11.7%の減少、費用は4.7%の減少となっています。収益の減少については、流入汚水量の減少等によるものであり、費用の減少については、企業債の支払利息の減少等によるものです。

経理の状況

区 分	今 期	前 年 同 期	比 較 増 減	対前年比率
	円	円	円	%
収 益	2,085,510,429	2,361,129,512	△ 275,619,083	88.3
費 用	981,506,816	1,029,517,111	△ 48,010,295	95.3
差 引	1,104,003,613	1,331,612,401	△ 227,608,788	82.9

(減価償却費を除く。)

令和3年度岐阜県流域下水道事業残高試算表

(令和3年9月30日現在)

(単位：円)

62,034,782,913	固 定 資 産	
62,031,266,506	有形固定資産	
3,516,407	無形固定資産	
1,960,312,866	流 動 資 産	
1,851,263,032	現 金 預 金	
6,919,920	未 収 金	
102,129,914	その他流動資産	
	固 定 負 債	14,764,711,484
	企 業 債	11,872,731,431
	他会計借入金	2,891,980,053
	流 動 負 債	1,287,860,374
	企 業 債	526,682,542
	前 受 金	315,094,470
	預 り 金	294,091,631
	その他流動負債	151,991,731
	繰 延 収 益	44,448,678,623
	長期前受金*1	47,178,464,111
2,729,785,488	長期前受金収益化累計額*2	
	資 本 金	0
	剰 余 金	2,389,841,685
	資 本 剰 余 金	2,101,862,372
	利 益 剰 余 金	287,979,313
	下水道事業収益	2,085,510,429
	営 業 収 益	1,318,420,096
	営 業 外 収 益	767,090,333
981,506,816	下 水 道 事 業 費 用	
898,076,976	営 業 費 用	
83,429,840	営 業 外 費 用	
64,976,602,595	合 計	64,976,602,595

令和2年度岐阜県流域下水道事業決算について

流域下水道事業の運営については、施設の老朽化に伴う更新需要の増大が見込まれるため、将来にわたり必要なサービスが安定的に提供できるよう計画的な更新整備に努めました。

1 流入汚水量

年間流入汚水量(有収水量)は、49,469,679^m³となりました。

流入汚水量実績

区 分	令和2年度	令和元年度	比較増減	対前年比率
	m ³	m ³	m ³	%
木曽川右岸流域下水道事業	49,469,679	—	—	—

2 収益的収入・支出

収益は、営業収益が維持管理費負担金の2,769,940千円で、他会計負担金等の営業外収益と合わせ6,551,952千円となりました。

一方、費用は人件費、物件費、減価償却費等の営業費用6,030,449千円に、企業債支払利息等233,524千円を合わせ6,263,973千円となり、この結果、当年度純利益は287,979千円となりました。

収益的収入・支出

区 分	令和2年度	令和元年度	比較増減	対前年比率
	円	円	円	%
下水道事業収益	6,551,952,458	—	—	—
営業収益	2,769,939,596	—	—	—
営業外収益	3,782,012,862	—	—	—
下水道事業費用	6,263,973,145	—	—	—
営業費用	6,030,449,302	—	—	—
営業外費用	192,586,069	—	—	—
特別損失	40,937,774	—	—	—
当年度純利益	287,979,313	—	—	—

3 資本的収入・支出

資本的収入は3,491,503千円、資本的支出は4,355,496千円となり、資本的支出不足額は863,993千円となりました。

資本の収入・支出

区 分	令和2年度	令和元年度	比較増減	対前年比率
資本の収入	円 3,491,502,776	円 —	円 —	% —
企業債	1,330,400,000	—	—	—
建設費負担金	519,692,000	—	—	—
他会計補助金	2,293,333	—	—	—
他会計借入金	0	—	—	—
国庫補助金	1,584,876,420	—	—	—
雑収入	54,241,023	—	—	—
資本の支出	4,355,496,054	—	—	—
建設改良費	2,842,030,627	—	—	—
企業債償還金	1,513,465,427	—	—	—
差 引	△863,993,278	—	—	—

令和2年度岐阜県流域下水道事業損益計算書

(令和2年4月1日から令和3年3月31日まで)

(単位：円)

1 営業収益			
(1) 維持管理負担金	<u>2,769,939,596</u>	2,769,939,596	
2 営業費用			
(1) 管きよ、ポンプ場及び処理場費*3	2,178,095,623		
(2) 総係費*4	22,681,930		
(3) 減価償却費*5	3,527,474,041		
(4) 資産減耗費*6	<u>302,197,708</u>	<u>6,030,449,302</u>	
営業利益			△3,260,509,706
3 営業外収益			
(1) 受取利息及び配当金	18,653		
(2) 他会計負担金	721,743,241		
(3) 他会計補助金	8,520,096		
(4) 使用料	5,027,122		
(5) 長期前受金戻入*1	2,967,435,742		
(6) 雑収益	<u>79,268,008</u>	3,782,012,862	
4 営業外費用			
(1) 支払利息及び企業債取扱諸費	185,884,687		
(2) 雑支出	<u>6,701,382</u>	<u>192,586,069</u>	<u>3,589,426,793</u>
経常利益			328,917,087
5 特別損失			
(1) 特別損失	<u>40,937,774</u>	<u>40,937,774</u>	287,979,313
当年度純利益			<u>287,979,313</u>
当年度未処分利益剰余金			<u>287,979,313</u>

令和2年度岐阜県流域下水道事業貸借対照表

(令和3年3月31日)

(単位：円)

資 産 の 部

1 固定資産

(1) 有形固定資産

イ 土地		3,730,046,865
ロ 建物	3,265,726,085	
減価償却累計額	<u>△ 135,845,493</u>	3,129,880,592
ハ 構築物	43,831,098,771	
減価償却累計額	<u>△1,590,676,868</u>	42,240,421,903
ニ 機械及び装置	14,168,556,886	
減価償却累計額	<u>△1,794,457,598</u>	12,374,099,288
ホ 車両運搬具	3,340,904	
減価償却累計額	<u>△ 980,602</u>	2,360,302
ヘ 工具、器具及び備品	10,582,801	
減価償却累計額	<u>△ 3,757,911</u>	6,824,890
ト 建設仮勘定*7		<u>395,207,316</u>

有形固定資産合計 61,878,841,156

(2) 無形固定資産

イ ソフトウェア		<u>3,516,407</u>
----------	--	------------------

無形固定資産合計 3,516,407

固定資産合計 61,882,357,563

2 流動資産

(1) 現金預金 741,318,564

(2) 未収金 541,070,558

(3) その他流動資産

イ 保管有価証券		<u>1,000,000</u>
----------	--	------------------

その他流動資産合計 1,000,000

流動資産合計 1,283,389,122

資産合計 63,165,746,685

負 債 の 部

3 固定負債

(1) 企業債

イ 建設改良費等の財源に 充てるための企業債		7,689,536,431
ロ その他の企業債		<u>3,953,195,000</u>

企業債合計 11,642,731,431

(2) 他会計借入金

イ その他の長期借入金		<u>2,891,980,053</u>
-------------	--	----------------------

他会計借入金合計 2,891,980,053

固定負債合計 14,534,711,484

4 流動負債

(1) 企業債

イ 建設改良費等の財源に 充てるための企業債		800,859,542
ロ その他の企業債		<u>462,697,250</u>

企業債合計		1,263,556,792	
(2) 未払金		28,298,592	
(3) 引当金*8			
イ 賞与引当金	<u>7,876,313</u>		
引当金合計		7,876,313	
(4) 維持管理前受金*9		315,094,470	
(5) 維持管理負担金繰越金		294,091,631	
(6) その他流動負債			
イ 預り有価証券	<u>1,000,000</u>		
その他流動負債合計		<u>1,000,000</u>	
流動負債合計			1,909,917,798
繰延収益			
長期前受金*1		47,061,061,206	
収益化累計額*2		<u>△2,729,785,488</u>	
繰延収益合計			<u>44,331,275,718</u>
負債合計			<u>60,775,905,000</u>
	資 本 の 部		
5 資本金			0
6 剰余金			
(1) 資本剰余金			
イ その他資本剰余金	<u>2,101,862,372</u>		
資本剰余金合計		2,101,862,372	
(2) 利益剰余金			
イ 当年度未処分利益剰余金	<u>287,979,313</u>		
利益剰余金合計		<u>287,979,313</u>	
剰余金合計			<u>2,389,841,685</u>
資本合計			<u>2,389,841,685</u>
負債資本合計			<u>63,165,746,685</u>

用語解説

*1 長期前受金、長期前受金戻入

減価償却を行う固定資産の取得又は改良に充てるため補助金等の交付を受けた場合において、その交付を受けた金額に相当する額を長期前受金として計上します。

また、長期前受金として計上した額のうち、当年度の減価償却見合い分を長期前受金戻入として計上します。

*2 長期前受金収益化累計額

長期前受金戻入をした額の合計です。

*3 管きよ、ポンプ場及び処理場費

主に汚水を浄化し、施設を維持するための費用です。

*4 総係費

主に事業の経営管理などを行うための費用です。

*5 減価償却費

建物や機器等の固定資産は、使用や時間の経過によってその経済的価値が減少していきます。この減少額を毎事業年度の費用として配分することを減価償却といいます。

*6 資産減耗費

固定資産が使用によって滅失し、また機能的に使用に耐えなくなったときは、この固定資産を廃棄します。この場合、固定資産の減価償却費として費用化されていない額を資産減耗費として計上します。

*7 建設仮勘定

巨額の資産の建設等については、完成までその建設期間中の資産について、一時的に使用する勘定科目（建設仮勘定）で整理します。

*8 引当金

将来発生する費用に備えるために計上する科目です。流域下水道事業会計には賞与引当金がありません。

*9 維持管理前受金

緊急を要する大規模な修繕工事が発生した場合に備えて、市町からの維持管理負担金を積立てたものです。

